

別紙

I. 事業評価総括表（平成30年度）
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業	大野市	19,080,409	11,430,000	
2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業	大野市	49,155,660	27,980,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	あっ宝んど施設修繕事業	大野市	10,999,800	8,000,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業 その1	大野市	6,959,520	5,600,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業 その2	大野市	8,791,200	7,200,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	水路整備事業	大野市	1,900,800	1,600,000	
7	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	木本地区簡易水道施設改良事業	大野市	7,992,000	6,400,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称							
1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業							
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市							
交付金事業実施場所		大野市天神町地係							
交付金事業の概要		<p>大野市図書館では、生涯学習の一助として、図書資料の提供、各種講座、読書会等を行っています。また、近年では、子どもの読書活動の重要性から、児童サービスに重点をおいた事業も多数行っており、「大野市子ども読書活動推進計画」の実施主体として、市民全体に意識付けを行う役割を担っています。</p> <p>本補助金を活用し、大野市図書館の健全な維持運営を通じて、図書資料等の情報提供サービスの充実や学習機会を提供することで、市民の生涯学習推進を図っています。（人件費：図書館司書3名・12カ月分）</p>							
交付金事業に関係する主要政策・施策と目標		<p>第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策1 結の心あふれる人づくり 施策2 生涯学習の推進 目標 図書館の来館者数 87,500人（令和2年度）</p>							
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度				
事業期間の設定理由		—							
交付金事業の成果目標及び成果実績		定量的な成果目標		成果指標	単位	評価年度 平成30年度			
		図書館の来館者数 87,500人（令和2年度）	図書館の来館者数 （人）	成果実績	人	102,043			
				目標値	人	87,500			
				達成度	%	117%			
		評価年度の設定理由							
		—							
交付金事業の定性的な成果及び評価									
<p>図書館の平成30年度来館者数は目標を超える102,043人となっており、目標を達成可能な水準であります。引き続き図書資料等の情報提供サービスの充実や学習機会を提供することで、市民の生涯学習推進と来館者数の増加を図ります。</p>									
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無									
無									
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標			単位	平成28年	平成29年	平成30年	
		図書館職員の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））			活動実績	人・月	36	36	36
					活動見込	人・月	36	36	36
					達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考				
総事業費		19,202,695	19,440,678	19,080,409					
交付金充当額		6,323,000	9,646,000	11,430,000					
うち文部科学省分				0					
うち経済産業省分		6,323,000	9,646,000	11,430,000					
交付金事業の契約の概要									
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額			
人件費		雇用		図書館職員		19,080,409円			
交付金事業の担当課室		総務課							
交付金事業の評価課室		総務課							

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称						
2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市						
交付金事業実施場所		大野市一円						
交付金事業の概要		<p>荒島、阪谷、和泉の各保育園では、地域の特性を活かし、豊かな自然に親しみ、高齢者との世代間交流等を行うことにより、地域社会との関わりを深めるなど、子ども自らがその体験を通して、好奇心や探求心を抱き、自分で考え、そして自己表現できる“生きる力”を育むことを保育の目標としており、各地区の子育て支援の核的機能を果たしています。また、各保育園は市街地から約5～30km離れた村部～山間部にあり、各地区における子育て支援の一層の充実を図るためには、各保育園の健全な維持運営が不可欠です。</p> <p>本補助金を活用し、公立保育園の健全な維持運営を通じて、魅力的で独創的な保育を展開することにより、各地区の児童の心身ともに健やかな成長を図っています。（人件費：保育士6名、調理師3名・12カ月分）</p>						
交付金事業に関係する主要政策・施策と目標		<p>第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策8 子どもと子育て家庭への支援 施策2 保育サービスの充実 目標 保育を必要とする児童の入所率 100%（平成30年度）</p>						
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度			
事業期間の設定理由		—						
交付金事業の成果目標及び成果実績		定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度 平成30年度			
		保育を必要とする児童の入所率 100%（令和2年度）	保育を必要とする児童の入所率（%）	成果実績	%	100		
				目標値	%	100		
				達成度	%	100%		
		評価年度の設定理由						
		—						
交付金事業の定性的な成果及び評価								
<p>児童の入所率は目標を達成していますが、引き続き就学前の教育・保育に柔軟に対応し、魅力的で独創的な保育を展開することにより、各地区の児童の心身ともに健やかな成長を図ります。</p>								
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	平成28年	平成29年	平成30年	
		保育士・調理師の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））		活動実績	人・月	36	36	108
				活動見込	人・月	36	36	108
				達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考			
総事業費		15,566,298	16,276,010	49,155,660				
交付金充当額		6,322,000	9,647,000	27,980,000				
		うち文部科学省分		0				
		うち経済産業省分	6,322,000	9,647,000	27,980,000			
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
人件費		雇用		保育士・調理師		49,155,660円		
交付金事業の担当課室		総務課						
交付金事業の評価課室		総務課						

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	あっ宝んど施設修繕事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 南新在家 地係				
交付金事業の概要		<p>大野市健康保養施設「あっ宝んど」は、開業から18年が経過し、施設及び設備が老朽化していることから、施設の維持管理のため、計画的な施設の修繕及び設備の更新・修繕を行うことが必要な状況でした。そこで、本補助金を活用し、当該施設及び設備の修繕等を行うことにより、施設の長寿命化を図るとともに、利用者の健康増進に寄与しました。</p> <p>ろ過ポンプ5台取替、ろ過タンク1台取替、三方弁2台取替、LED非常用照明器具109台取替</p>				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策9 保健予防と地域医療の推進 施策1 健康づくりと保健予防の充実 目標 健康保養施設（あっ宝んど）年間利用者数168,000人（平成30年度）</p>				
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度	
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度 平成30年度	
		あっ宝んど年間利用者数168,000人（平成30年度）	あっ宝んど年間利用者数（人）	成果実績	人	156,334
				目標値	人	168,000
				達成度	%	93.1%
		評価年度の設定理由				
		—				
交付金事業の定性的な成果及び評価						
<p>成果目標の年間利用者数168,000人には届かなかったが、非常用照明器具の取替により、いつ起こるか分からない災害時に備え、市民の安全・安心に努めることができました。また、ろ過ポンプ類取替については計画的な設備の修繕と更新により、施設の維持管理に努め、施設の長寿命化を図ることができ、健康づくりの場を提供し市民の健康増進を一層図ることができました。</p>						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	30年	
		工事進捗率		活動実績	%	100
				活動見込	%	100
達成度	%			100.0		
交付金事業の総事業費等		平成30年度	備考			
総事業費		10,999,800				
交付金充当額		8,000,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		8,000,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
ろ過ポンプ・ろ過タンク・計装機器の取替修繕		一般競争入札	株式会社中川設備（大野市）		5,238,000円	
非常用照明の取替修繕		一般競争入札	有限会社泉新電設（大野市）		5,761,800円	
交付金事業の担当課室		健康長寿課				
交付金事業の評価課室		健康長寿課				

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業 その1				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 若杉町、国時町 地係				
交付金事業の概要		市道上神明・明治線は、居住人口の多い市街地中心部を歩きかうための重要な生活道路です。沿線にはスーパーや飲食店等があり、その利用者をはじめ、物資の流通を担う重要な路線となっていますが、舗装の損傷が著しく、道路利用者の円滑な通行の妨げとなっている状況です。そこで、本補助金を活用し、公共下水道工事敷設箇所の舗装本復旧と連携し、効率良く一体的に舗装補修を行い、生活道路としての機能回復を図ります。 施工延長L=480.3m 土工 1式 表層工 A=1,430㎡ 不陸整正工 A=1,430㎡ 区画線設置工 1式				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策16 人にやさしい道路環境の創出 施策1 生活道路の管理と整備 目標 住民からの苦情報告件数0件（平成30年度）				
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度	
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度 平成30年度	
		住民からの苦情報告件数0件	住民から市役所への当該道路への苦情件数	成果実績	件	0
				目標値	件	0
				達成度	%	100.0%
		評価年度の設定理由				
		—				
		交付金事業の定性的な成果及び評価				
損傷の激しかった市道の舗装補修を行うことで、道路利用者の安全で円滑な通行に寄与することができました。						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	30年	
		舗装補修により利便性が向上した実延長		活動実績	m	480
				活動見込	m	480
				達成度	%	100.0
交付金事業の総事業費等		平成30年度	備考			
総事業費		6,959,520				
交付金充当額		5,600,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		5,600,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		
舗装補修工事		条件付き一般競争入札		大野開発工業株式会社（大野市）		
				契約金額		
				6,959,520円		
交付金事業の担当課室		建設整備課				
交付金事業の評価課室		建設整備課				

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業 その2				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 中野 地係				
交付金事業の概要		市道北大野駅上中野線他1路線は、居住人口の多い市街地中心部を行きかうための重要な生活道路です。沿線にはJR北大野駅や下庄小学校があり、周辺では住宅団地の造成等が多く、利用者が増加している重要な路線ですが、舗装の損傷が著しく、道路利用者の円滑な通行の妨げとなっている状況でした。そこで、本補助金を活用し、公共下水道工事敷設箇所の舗装本復旧と連携し、効率良く一体的に舗装補修を行い、生活道路としての機能回復を図りました。 施工延長L=600.5m 土工 1式 表層工 A=1,820㎡ 不陸整正工 A=1,820㎡ 区画線設置工 1式				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策16 人にやさしい道路環境の創出 施策1 生活道路の管理と整備 目標 住民からの苦情報告件数0件（平成30年度）				
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度	
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度 平成30年度	
		住民からの苦情報告件数0件	住民から市役所への当該道路への苦情件数	成果実績	件	0
				目標値	件	0
				達成度	%	100.0
		評価年度の設定理由				
		—				
交付金事業の定性的な成果及び評価						
損傷の激しかった市道の舗装補修を行うことで、道路利用者の安全で円滑な通行に寄与することができました。						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	30年	
		舗装補修により利便性が向上した実延長		活動実績	m	600.5
				活動見込	m	600.5
				達成度	%	100.0
交付金事業の総事業費等		平成30年度	備考			
総事業費		8,791,200				
交付金充当額		7,200,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		7,200,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		
舗装補修工事		条件付き一般競争入札		大野開発工業株式会社（大野市）		
				契約金額		
				8,791,200円		
交付金事業の担当課室		建設整備課				
交付金事業の評価課室		建設整備課				

II. 事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	水路整備事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 木本 地係				
交付金事業の概要		山原用水路の老朽化により漏水が発生し、付近の住居や田畑に浸水被害がでるなど、計画的な整備を行うことが必要な状況でした。そこで、本補助金を活用し、山原用水路の整備を実施することにより、浸水被害の防止を図るとともに環境保全と市民生活の向上を図るため、本年度は地元住民との協議を行うにあたっての工法検討のための調査を実施しました。 水路整備 施工延長 L=575.6m うち調査検討 L=575.6m				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策17 快適な生活関連の基盤整備 施策1 水道の整備 目標 山原用水路改良率 現状3.4% 最終目標26.0%（令和2年度）				
事業開始年度		平成30年度	事業終了年度		平成30年度	
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績		定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度 令和2年度	
		山原用水路改良率 26.0%（令和2年度）	山原用水路改良率 （%）	成果実績	3.7	
				目標値	26	
				達成度	14.2%	
		評価年度の設定理由				
		—				
交付金事業の定性的な成果及び評価						
山原用水路の老朽化により漏水が発生し、付近の住居や田畑に浸水被害がでるなど、計画的な整備を行うことが必要な状況でした。山原用水路の整備を実施することにより、浸水被害の防止を図るとともに環境保全と市民生活の向上を図るため、平成30年度に地元住民との協議を行うにあたっての工法検討のための調査を実施しましたが、調査結果と地元住民との協議結果や利用状況からして、改良可能区間は少なく、目標改良率が26%ではなく3.7%ということが判明しました。地元住民と協議を重ね、令和2年度に改良工事を行った結果、地元住民も納得のいく生活を送ることができており、環境保全と市民生活の向上を図ることができました。						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標	単位	30年		
		調査設計	活動実績	m	575.6	
			活動見込	m	575.6	
達成度	%		100.0			
交付金事業の総事業費等		平成30年度	備考			
総事業費		1,900,800				
交付金充当額		1,600,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		1,600,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
改修工法検討業務委託		指名競争入札	九頭龍測量株式会社（大野市）		1,900,800円	
交付金事業の担当課室		建設整備課				
交付金事業の評価課室		建設整備課				

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称				
7	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	木本地区簡易水道施設改良事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 木本 地係				
交付金事業の概要		<p>木本地区簡易水道は昭和41年より供用開始し51年が経過し、配水池内部では貯留する水と気相部では結露水等の影響でコンクリートが浸食され、配水池の内面に防食処理が行われていないため、コンクリートが劣化し漏水が発生している状況でした。そこで、本補助金を活用し、配水池の防食工事を行うことによってコンクリートの劣化が防止され、配水池の長寿命化を図りました。</p> <p>配水池内防食工 A=165.4㎡、配水管布設工 L=2m</p>				
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第五次大野市総合計画（平成23年度～令和2年度） 基本目標 共に思いやり支え合う安全で安心なまち 基本施策17 快適な生活関連の基盤整備 施策1 水道の整備 目標 耐用年数 20年延長</p>				
事業開始年度	平成30年度	事業終了年度	平成30年度			
事業期間の設定理由		—				
交付金事業の成果目標及び成果実績	定量的な成果目標	成果指標	単位	評価年度 平成30年度		
	施設の耐用年数の延長 20年	施設の耐用年数の延長 (年)	成果実績	年	20	
			目標値	年	20	
			達成度	%	100.0%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価					
・配水池内の防食工事を実施したことにより、コンクリートの劣化が防止され、配水池の長寿命化が図られております。						
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	30年		
	配水池内防食工施工面積		活動実績	㎡	165.4	
			活動見込	㎡	165.4	
			達成度	%	100.0	
交付金事業の総事業費等		平成30年度	備考			
総事業費		7,992,000				
交付金充当額		6,400,000				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		6,400,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
施設改良工事		一般競争入札	日通プロパン住設株式会社（大野市）		7,992,000円	
交付金事業の担当課室		上下水道課				
交付金事業の評価課室		上下水道課				